

# 186.C型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬(Direct Acting Antivirals: DAA)治療後の予後の観察研究

## 研究対象者

2017年3月3日より国立病院機構熊本医療センターにおいてC型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬(Direct Acting Antivirals: DAA)治療を受けた患者様

## 研究協力をお願い

この研究は、国立病院機構熊本医療センターでC型慢性肝疾患に対する直接作用型抗ウイルス薬(Direct Acting Antivirals: DAA)治療を受けた患者様の予後に関する調査を、熊本大学大学院生命科学研究部消化器内科学を研究事務局として熊本県内の関連施設の多施設共同研究として行うことになりました。対象となる患者様は、熊本大学消化器内科ならびに関連施設でDAA治療を行いウイルス駆除が得られたC型慢性肝疾患の患者様です。この研究は、過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報 は匿名化させていただき、その保護は徹底致します。学会や論文などによる結果発表に際しては、患者様個人の特定が可能な情報は全て削除致します。

対象となる患者様で、本研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思います。なお、本研究は熊本大学の「人を対象とする生命科学・医学系研究臨床研究部門倫理委員会」の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはございませんので、ご安心下さい。

情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって研究に関する事項を公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

## 研究の目的と方法

### (研究の目的について)

本臨床研究では直接作用型抗ウイルス薬(Direct Acting Antivirals: DAA)を受けられたC型慢性肝疾患の患者様を対象としております。今後増加が予想されるDAAの治療を受けられた方のウイルス駆除率は高く、その治療を受けられた方のその後の癌の発生や生命予後などを調査することで、効率的な治療後の経過観察の方法などが期待されます。

### (研究の方法について)

当院の電子カルテシステムから画像検査および検体検査(血液および尿検査)項目を抽出し、匿名化された状態でデータベースを構築し、各種解析を行います。研究期間は2017年3月3日~2025年12月31日です。

## 問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター：電話番号096-353-6501 消化器内科 研究責任者 杉 和洋